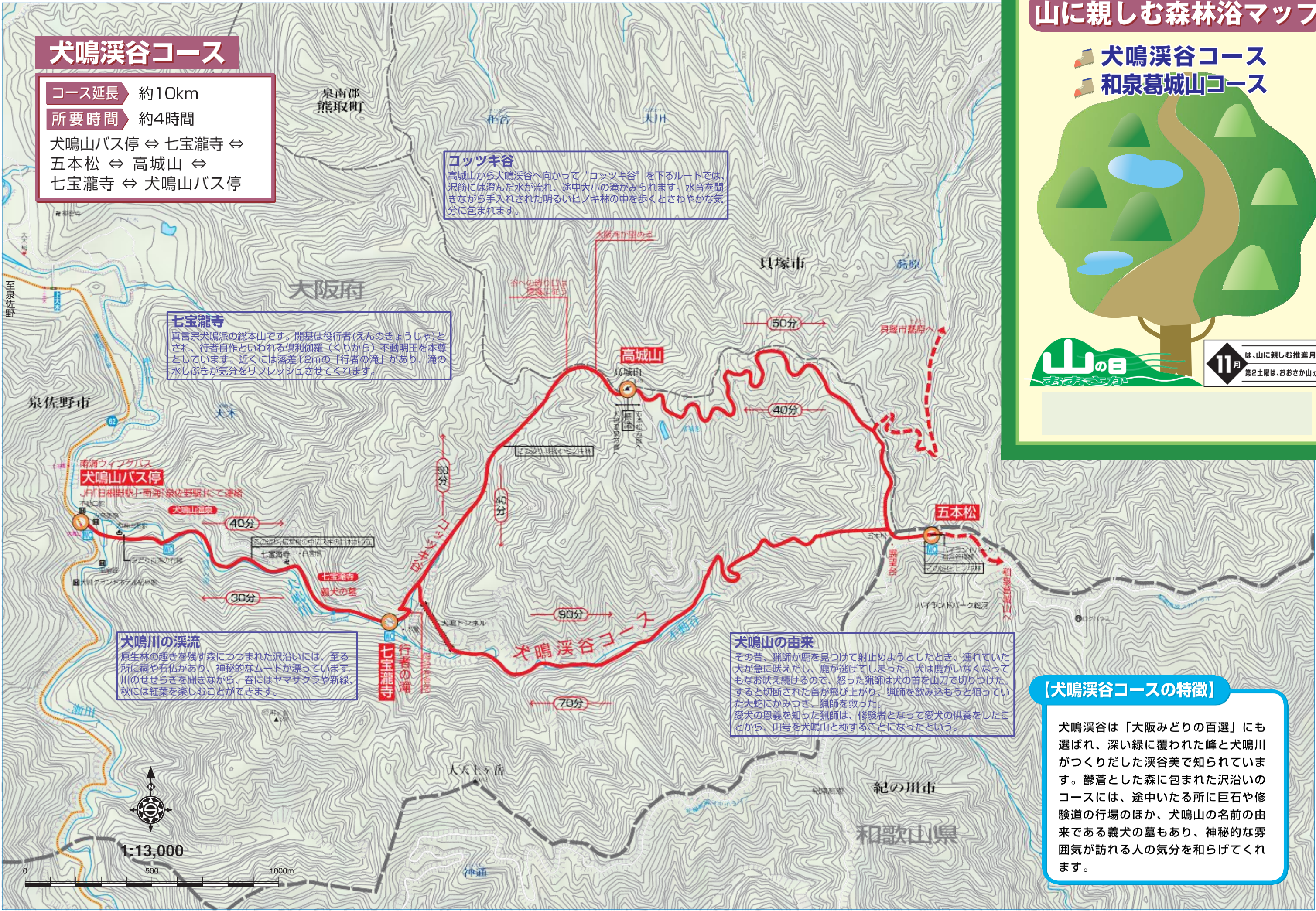


犬鳴溪谷コース

コース延長 約10km

所要時間 約4時間

犬鳴山バス停 ⇄ 七宝瀧寺 ⇄
五本松 ⇄ 高城山 ⇄
七宝瀧寺 ⇄ 犬鳴山バス停



コッツキ谷
高城山から犬鳴溪谷へ向かって「コッツキ谷」を下るルートでは、沢筋には澄んだ水が流れ、途中大小の滝がみられます。水音を聞きながら手入れされた明るいヒノキ林の中を歩くとさわやかな気分になります。

七宝瀧寺
真言宗犬鳴派の総本山です。開基は役行者(えんのぎょうじゃ)とされ、行者自作といわれる俱利伽羅(くりから)不動明王を本尊としています。近くには落差12mの「行者の滝」があり、滝の水しぶきが気分をリフレッシュさせてくれます。

犬鳴川の渓流
原生林の趣を残す森にまつまれた沢沿いには、至る所に祠や石仏があり、神秘的なムードが漂っています。川のせせらぎを聞きながら、春にはヤマサクラや新緑、秋には紅葉を楽しむことができます。

犬鳴山の由来
その昔、猟師が鹿を見つけ射止めようとしたとき、連れていた犬が急に吠えだし、鹿が逃げました。犬は鹿がいなくなってもなお吠え続けるので、怒った猟師は犬の首を山刀で切りつけた。すると切断された首が飛び上がり、猟師を飲み込もうと狙っていた大蛇にかみつき、猟師を救った。愛犬の恩義を知った猟師は、修験者となって愛犬の供養をしたことから、山号を犬鳴山と称することになったという。

山に親しむ森林浴マップ

- 犬鳴溪谷コース
- 和泉葛城山コース



11月 は、山に親しむ推進月間
第2土曜は、おおさか山の日

【犬鳴溪谷コースの特徴】

犬鳴溪谷は「大阪みどりの百選」にも選ばれ、深い緑に覆われた峰と犬鳴川がつくりだした溪谷美で知られています。鬱蒼とした森に包まれた沢沿いのコースには、途中いたる所に巨石や修験道の行場のほか、犬鳴山の名前の由来である義犬の墓もあり、神秘的な雰囲気訪れる人の気分を和らげてくれます。